



Sun Java System Web Proxy Server 4.0.3 2006Q2 リリース ノート



Sun Microsystems, Inc.
4150 Network Circle
Santa Clara, CA 95054
U.S.A.

Part No: 819-7044
2006年5月

本書で説明する製品で使用されている技術に関連した知的所有権は、Sun Microsystems, Inc. に帰属します。特に、制限を受けることなく、この知的所有権には、米国特許、および米国をはじめとする他の国々で申請中の特許が含まれています。

U.S. Government Rights – Commercial software. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本製品には、サードパーティーが開発した技術が含まれている場合があります。

本製品の一部は Berkeley BSD システムより派生したもので、カリフォルニア大学よりライセンスを受けています。UNIX は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびにほかの国における登録商標です。

Sun、Sun Microsystems、Sun のロゴマーク、Solaris のロゴマーク、Java Coffee Cup のロゴマーク、docs.sun.com、Java、Solaris は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標もしくは登録商標です。Sun のロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPEN LOOK および SunTM Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカルユーザーインターフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは、OPEN LOOK GUI を実装するか、または米国 Sun Microsystems 社の書面によるライセンス契約に従う米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

この製品は、米国の輸出規制に関する法規の適用および管理下にあり、また、米国以外の国の輸出および輸入規制に関する法規の制限を受ける場合があります。核、ミサイル、生物化学兵器もしくは原子力船に関連した使用またはかかる使用者への提供は、直接的にも間接的にも、禁止されています。このソフトウェアを、米国の輸出禁止国へ輸出または再輸出すること、および米国輸出制限対象リスト(輸出が禁止されている個人リスト、特別に指定された国籍者リストを含む)に指定された、法人、または団体に輸出または再輸出することは一切禁止されています。

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

目次

Sun Java System Web Proxy Server のリリースノート	5
Sun Java System Web Proxy Server リリースの拡張機能	5
アップグレードのサポート	5
プラットフォームの概要	6
プラットフォームの要件	6
サポートされるブラウザ	7
ハードウェアおよびソフトウェアの要件	7
マニュアルへのアクセス	7
障害者のためのアクセシビリティ機能	8
修正済みの問題	8
4.0.3 で修正された問題	8
4.0.2 で修正された問題	12
4.0.1 で修正された問題	13
既知の問題	15
管理	15
キャッシュ	16
マニュアル	16
インストール	17
国際化	17
移行	20
監視	20
SOCKS	21
お問い合わせ先	21

Sun Java System Web Proxy Server のリリースノート

このリリースノートには、Sun Java™ System Web Proxy Server 4.0.3 製品 (以降 Proxy Server 4.0.3 と表記) がリリースされた時点で利用できる重要な情報が含まれています。Sun 製品を使い始める前に、このドキュメントおよび関連ドキュメントをお読みください。

このドキュメントには、次の項目があります。

- 5 ページの「Sun Java System Web Proxy Server リリースの拡張機能」
- 6 ページの「プラットフォームの概要」
- 7 ページの「ハードウェアおよびソフトウェアの要件」
- 7 ページの「マニュアルへのアクセス」
- 8 ページの「修正済みの問題」
- 15 ページの「既知の問題」
- 21 ページの「お問い合わせ先」

Sun Java System Web Proxy Server リリースの拡張機能

Proxy Server リリースには、次の拡張機能が加えられています。

アップグレードのサポート

Proxy Server 4.0.2 リリースからアップグレードの場合、インストーラは、既存の Proxy Server 4.0 インストールから新しいバージョンへのアップグレードをサポートしていません。Java Enterprise System の Proxy Server 4.0.1 をインストールしている場合は、新しいリリースに対応するパッチをインストールする必要があります。

プラットフォームの概要

この節では、Proxy Server 4.0.3 でサポートされるプラットフォームコンポーネントに関する情報を示します。

この節には、次の項目があります。

- [6 ページの「プラットフォームの要件」](#)
- [7 ページの「サポートされるブラウザ」](#)

プラットフォームの要件

次の表は、Proxy Server 4.0.3 プラットフォームの要件についてまとめたものです。

表 1 Proxy Server 4.0.3 のプラットフォーム要件

オペレーティングシステム	最小限のメモリー	推奨するメモリー	推奨するディスク容量*
Sun Solaris™ 8 for SPARC®	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上
Sun Solaris 9 for SPARC	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上
Sun Solaris 10 for SPARC	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上
Sun Solaris 9 for x86	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上
Sun Solaris 10 for AMD Opteron™	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上
Red Hat Linux Advanced Server 2.1**	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上
Red Hat Enterprise Linux Advanced Server 3 Update 4	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上
Red Hat Enterprise Linux Advanced Server 4 Update 2	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上
Microsoft Windows 2000 Server Service Pack 4	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上
Microsoft Windows 2000 Advanced Server	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上
Microsoft Windows 2003 Enterprise Edition	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上

* キャッシュ容量の設定によって決まります。デフォルトのキャッシュ容量設定は2Gバイトです。

** Red Hat Linux Advanced Server 2.1 のサポートは推奨されなくなったため、Sun Java System Web Proxy Server 製品の「次回の」リリースで削除されます。

サポートされるオペレーティングシステムに Web Proxy Servers を移動または移行するために必要な措置を講じてください。

サポートされるブラウザ

次の表は、Proxy Server 4.0.3 でサポートされるブラウザを一覧したものです。

表 2 Proxy Server 4.0.3 でサポートされるブラウザ

ブラウザ	バージョン
Microsoft Internet Explorer	6.0
Netscape™	7.1, 7.2
Mozilla™	1.4.1, 1.7.2

ブラウザは Java に対応している必要があります。

ハードウェアおよびソフトウェアの要件

6 ページの「プラットフォームの要件」に一覧した UNIX オペレーティングシステムのメモリーおよびディスク容量の要件に加えて、システムには適切なスワップ容量も必要です。

- Solaris では、少なくともシステムの RAM 容量と同じスワップ容量が必要です (RAM 容量の 2 倍を推奨)
- Linux では、256M バイトのスワップ容量が必要です。

マニュアルへのアクセス

Sun Java System Web Proxy Server 4.0.3 のマニュアルはさまざまな方法で提供されています。

- マニュアル - Proxy Server 4.0.3 のマニュアルおよびリリースノートは、HTML 形式および印刷可能な PDF 形式で参照できます。
- オンラインヘルプ - グラフィカルインタフェースの「ヘルプ」ボタンをクリックすると、関連した内容のヘルプウィンドウが開きます。

障害者のためのアクセシビリティ機能

このメディアの出版以降にリリースされたアクセシビリティ機能を手に入れるには、Sun に米国リハビリテーション法 508 条に関する製品評価資料を請求し、その内容を確認して、どのバージョンが、アクセシビリティに対応したソリューションを配備するためにもっとも適しているかを特定してください。更新バージョンのアプリケーションは、<http://sun.com/software/javaenterprisesystem/get.html> にあります。

アクセシビリティに対する Sun の取り組みについては、<http://sun.com/access> を参照してください。

修正済みの問題

この節では、次のリリースで修正された最も重要な問題について説明します。

- 8 ページの「4.0.3 で修正された問題」
- 12 ページの「4.0.2 で修正された問題」
- 13 ページの「4.0.1 で修正された問題」

4.0.3 で修正された問題

次の表に、Sun Java System Web Proxy Server 4.0.3 で修正された問題を示します。

表 3 Sun Java System Web Proxy Server 4.0.3 で修正された問題

ID	概要
6191615	起動時に特定の正規表現を URL フィルタとして使用すると、Proxy Server がクラッシュします。
6213012	Windows 上の ROTATELOGS イベントは、指定された時間に起動されません。
6213726	転送時間レポートが、常に「0.00 sec/req」という値を報告します。
6215659	転送時間配布レポートが、常に「< 1 sec [100.0%]」という値を示します。
6239292	アクセスログファイルにログ情報がない場合の、Extended2 形式の Log Analyzer エラー。
6242032	『Proxy Server 4.0.2 管理ガイド』の第 7 章の「システムの詳細設定」節での Parent Array の説明が間違っています。正しい説明は、「親配列とは、プロキシまたはプロキシ配列メンバーがルーティングに使用するプロキシ配列のことです」。
6264079	管理インタフェースがディレクトリサービスのデフォルト値である default を上書きします。

表 3 Sun Java System Web Proxy Server 4.0.3 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6275141	Proxy Server 4.0.2 でファイルキャッシュ機能は GUI に表示され、「Server Manager」>「Caching」>「Configure File Cache」ページに説明がありますが、この機能は実装されていません。
6270693	Filter 指令が要求ごとに 2 回呼び出されることがあります。
6285076	両方のメソッドが構成されている場合、SOCKS サーバーがユーザー認証に両方の LDAP & パスワードファイルを処理できません。
6285183	Windows で PR_MemUnmap() 呼び出しによってエラーが発生します。
6285791	JES4 の SOCKS サーバーの start コマンド行の問題はこのリリースで修正されましたが、JES4 インストールで作成された既存のインスタンスでは、最新の 4.0.3 パッチにアップグレードしたあとも問題が残ります。アップグレード後に作成された新しいインスタンスにはこの問題はありません。この問題は、Web Proxy Server のスタンドアロンインストールでは発生しません。
6289188	root 以外のユーザーとして Proxy Server 4.0 をインストールし、root ユーザーとして管理サーバーをインストールした場合、管理ユーザーインタフェースでキャッシュ設定を変更すると、キャッシュファイルおよびキャッシュディレクトリのアクセス権が root 以外から root に変更されます。
6292729	「Client IP Addressing Forwarding」のデフォルト設定は「ブロック」にします。
6294282	Proxy Server 4.0 管理インタフェースでパターンに「\」を含むリソースの ACL を正しく設定できません。
6294563	アクセスログ形式のデフォルト設定は Web Server とは異なります。
6295286	『Proxy Server 4.0.2 管理ガイド』の第 14 章の「逆プロキシの設定」節では、手順 5 で、「/」マッピングは管理 GUI が自動的に表示する「Map Source Prefix」テキストボックスの内容をユーザーが変更しない場合にのみ追加されることに注意を促す必要があります。
6296870	管理インタフェースにキャッシュセクションテーブルの詳細が正しく表示されません。
6299913	Proxy 3.6 から 4.0 への移行中に ConnAddress 指令が Address に変わりません。
6300480	Proxy 3.6 から 4.0 への移行中に「キャッシュ」タブの設定が正常に移行されません。
6301140	キャッシュが無効になっているプロキシのインスタンスの移行時に、移行によって無効なキャッシュエントリが作成されます。
6303619	default 以外の名前前で登録されているデータベースで ACL が正しく機能しません。
6304354	「Do Not Log Client Accesses From」オプションが反映されない構成が作成されます。
6311548	Proxy Server 4.0 はアクセスログに auth-user の代わりに pauth-user を使用します。

表 3 Sun Java System Web Proxy Server 4.0.3 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6312044	Proxy Server 4.0 管理インタフェースでは、「Monitor Current Activity」ページの「Server Status」タブは「DNS」、「Keep-Alive」、「Cache Statistics」では更新されません。
6313910	Windows では、ヘッダー名の書き換え機能に失敗し、「Internal server error occurred」というメッセージが表示されます。
6313959	『Proxy Server 4.0.2 管理ガイド』の第 12 章の「ファイルキャッシュを設定するには」節の手順 1 の説明は誤っています。正しい説明は、「Server Manager から、「Caching」タブをクリックします」です。
6313960	『Proxy Server 4.0.2 管理ガイド』の第 12 章の「バッチ更新を作成するには」節には、「Timing セクション」を参照する手順 10 があります。この手順は誤っています。「Set Cache Batch Updates」ページには「Timing セクション」がありません。
6316289	『Proxy Server 4.0.2 管理ガイド』の第 12 章の「キャッシュのディレクトリ構造の構築」節には、図 12-2 ではなく、図 12-1 を参照する例が掲載されています。
6325537	管理インタフェースで RqThrottle 値を変更できません。
6325616	定期的な (明示的な) ガベージコレクションでキャッシュがクリアされません。
6328678	管理インタフェースから、ICP timeout 値を 400 ミリ秒未満に設定できません。
6331044	『Proxy Server 4.0.2 管理ガイド』のまえがきで、「マニュアルの使用」節に、Proxy Server 4 マニュアルの場所を指定しています。 http://docs.sun.com/app/docs/prod/s1.webproxys#hic この節では、次の場所の Proxy Server 4.0.2 マニュアルを指示する必要があります。 http://docs.sun.com/app/docs/coll/1311.2
6334854	Web Proxy Server のドキュメントと sun-web-proxy-server_4_0.dtd に不一致があります。
6337102	Web Proxy Server が DNS fn = "dns-config" local-domain-levels = "8" でクラッシュします。
6338719	Proxy Server のパッチアップグレードが Linux AS 3.0 上で異なる場所にインストールされます。
6338875	Proxy 4.0.1 FTP クライアントがシンボリックリンクを正しく処理できません。
6350957	『Proxy Server 4.0.2 管理ガイド』の第 5 章の「待機ソケットのセキュリティーの有効化」節では、セキュリティーは逆プロキシモードでのみ有効にすることができ、順プロキシモードでは有効にできないことが述べられていません。 また、第 8 章の「ユーザーとグループの指定」節では、セキュリティーは逆プロキシモードでのみ有効にすることができ、順プロキシモードでは有効にできないことが述べられていません。

表 3 Sun Java System Web Proxy Server 4.0.3 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6365433	Proxy Server の管理インタフェースで自動開始オプションが選択されている場合、Proxy Server インスタンスを作成できません。
6367375	親プロキシがある場合、CONNECT とのマッピングが機能しません。
6369095	Proxy Server 4.0 でのメモリーリーク。
6371084	Web サーバーの IP アドレスを使用している場合、連鎖プロキシ環境で SSL サイトの要求が機能しません。
6371618	「Compression Level」を「なし」に変更できません。
6371731	“connect://.*:563” がデフォルトリソースにありません。
6371793	pkginfo は SUNWproxy-110n の \$distro を表示します。
6373101	管理サーバーが ssl-client-config に対して無効なパラメータを作成します。
6373622	cache-disable SAF が説明されていません。
6374279	WebDAV OPTIONS メソッドへの応答が RFC2518 に準拠していません。
6376065	max-uncheck 関数が予想通りに機能しません。
6376153	Proxy Server 4.0.2 は、ftp/gopher プロトコルのキャッシュを更新しません。
6381373	キャッシュがすでに温まっている場合、再起動後の実行中に Proxy Server がクラッシュします。
6381419	Cache-last-checked ヘッダーの値が無効です。
6381424	警告ヘッダーはホストを含んでいるべきです。エージェントのポート値がこのヘッダーを追加します。
6382729	Proxy Server は utf-8 エンコードパラメータを受け入れません。
6383301	Proxy Server 4.0 はチャンネルプールに問題があります。
6383456	Proxy Server 4.0.2 は Linux で高度な CPU を使用します。
6384616	Proxy Server 4.0.3 オンラインヘルプには、文字の間違いがあります。
6385902	アクセスログ設定の設定の形式はデフォルト形式と一致しません。
6387772	バグ (6325537、6303619) が修正されたため OLH の変更をローカライズする必要があります。
6387901	『Proxy Server 4.0.2 管理ガイド』の第 11 章の「プロキシサーバーの連鎖」節は明確ではありません。
6388156	キャッシュファイルのヘッダーが壊れる可能性があります。

表 3 Sun Java System Web Proxy Server 4.0.3 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6390237	応答にコンテンツの2倍の長さのヘッダーが含まれている場合、プロキシは間違ったコンテンツの長さを渡します。
6392875	regexp-map が接続のために機能しません。
6393573	DNS fn= "dns-config" local-domain-levels= "1" の場合、Proxy 4.0.2 がクラッシュします。
6394287	SOCKS プロセスが頻繁にポーリングしすぎるため、sockd プロセスが CPU の約 50% を使用しています。
6395473	「遅い」クライアントを処理している場合の Proxy Server 4.0 での高度な CPU 使用問題。
6395889	Proxy Server 4.0.2 を使用している場合に、Windows Server Update Service (WSUS) が機能しません。
6400981	socks5.conf で設定されている SOCKS5_TIMEOUT 値が無視されます。
6402698	FTP クライアントでの高度な CPU の使用。
6418214	Proxy Server 4.0 ガベージコレクション機能での問題。
6424527	cache-control ヘッダーのエントリが空のリクエストでは、処理中に Proxy Server がクラッシュします。

4.0.2 で修正された問題

次の表に、Sun Java System Web Proxy Server 4.0.2 で修正された問題を示します。

表 4 Sun Java System Web Proxy Server 4.0.2 で修正された問題

ID	概要
5097664	ssl-tunnel-timeout パラメータが Windows で機能しません。
6225025	ftp-listing-width パラメータが正しく機能しません。
6251805	アーカイブのログを変更するとクラッシュします。
6262277	ICP のタイムアウトの最小値を 400 から 50 に変更します。
6292690	Proxy Server 4 で、IE 6.0 を使用して管理インタフェースにアクセスしているときに、「Manage Sections」 > 「Partition」 を使用して元のパーティションを選択できません。
6292786	Proxy Server で、転送時間やその他の時間がアクセスログに書き込まれません。
6308714	umask が 022 に設定されていない場合に、Proxy Server の起動に失敗します。

表 4 Sun Java System Web Proxy Server 4.0.2 で修正された問題 (続き)

6310909	Proxy Server 4.0.1 ポイント製品で、製品名のバージョン文字列がフランス語ロケールで 2005Q3 から 2005T3 に誤って訳されています。
6310910	Proxy Server 4.0.1 ポイント製品で、フランス語ロケールのインストーラメッセージ中のアポストロフィーが多数欠落しています。
6310944	Proxy Server 4.0.1 ポイント製品で、CLI インストーラがライセンスを表示しません。
6310961	Proxy Server 4.0.1 ポイント製品で、スペイン語ロケールのライセンスインストーラ画面の「Yes」がローカライズされていません。
6312723	Proxy Server 4.0 を使用しているときに、IP アドレスで SSL サイトにアクセスできません。
6313981	Proxy Server 4 で、管理インターフェースを使用して新しい逆マッピングを作成したあとで「Rewrite Content Location」および「Rewrite Headername」の値を変更できません。
6315817	複数の同時 CONNECT (SSL トンネリング) 要求によって、スレッドが不足します。
6330348	負荷実行時に Solaris 10 のプロキシプロセスによってメモリーが大量に使用されます。
6333995	CONNECT の負荷テストの実行時にメモリーリークが発生します。
6335919	FTP サーバーが閉じていると、Proxy Server の FTP クライアントの接続が閉じません。
6335922	Proxy Server の FTP クライアントが USER 要求を FTP サーバーに送信しません。
6336550	Proxy Server 4.0 インストールを含むディレクトリに Proxy Server 4.0.1 をインストールしようとするエラーが発生します。

4.0.1 で修正された問題

次の表に、Sun Java System Web Proxy Server 4.0.1 で修正された問題を示します。

表 5 Sun Java System Web Proxy Server 4.0.1 で修正された問題

ID	概要
2126143	同じ正規表現がアクセス制御とルーティングでは機能しますが、URL フィルタでは機能しません。
2126380	プロキシサーバーの ICP プロセスのメモリーリーク。
6231283	Linux Red Hat Advanced Server 3.0 上の管理サーバーが起動に失敗します。
6237346	flexanlg ユーティリティが、Extended2 ログファイル形式でのログ分析レポートの生成時に、コアダンプを出力します。

表 5 Sun Java System Web Proxy Server 4.0.1 で修正された問題 (続き)

6240767	管理サーバーおよびプロキシサーバーインスタンスの追加/編集待機ソケットが、使用されているポートを確認しません。
6242627	ローカライズされたコアメッセージが表示されません。
6243369	SOCKSに関連するページでマルチバイト文字のエントリは避ける必要があります。
6244103	Linux Advanced Server 3.0 韓国語ロケールでプロキシサーバーインスタンスの「Set Connectivity Mode」ページにアクセスすると、内部サーバーエラーが表示されます。
6245408	管理者ユーザーとプロキシインスタンスユーザーが異なる場合に、新しく追加したパーティションにアクセスすると、内部エラーが表示されます。
6249166	プロキシサーバーへのアクセス時に、URLのホスト名がlocalhostに置換されると、「Cluster」タブの「Control Cluster」、「Modify Server」、「Remove Server」ページの表示が一致しません。
6253014	Linux Red Hat Advanced Server 3.0 上のobj.confファイルに、9つを超えるNameTransディレクティブが存在すると、init-proxy SAFでクラッシュが発生します。
6254508	セグメンテーションのエラーによって、バッチの更新コマンドが終了します。
6255214	マルチバイト文字から構成されるコンテンツURL書き換えページのエントリを編集または削除できません。
6255216	socks5.conf内の特定のLDAPエントリによって、socksdクラッシュが発生します。
6259314	ローカライズされた一部のオンラインヘルプページが英語のオンラインヘルプページと同期化されていません。
6261440	インストールディレクトリに、重複した英語オンラインヘルプが存在します。
6263694	「Add and Replace Compromised Key List」ページおよび「Add and Replace Certificate Revocation List」ページでオンラインヘルプが利用できません。
6263721	Server Managerの「Add/Replace Cert」ページについて誤ったヘルプページが表示されます。
6274186	サーバーインスタンスを削除できません。
6276398	基本ワークスペースからローカライズされたオンラインヘルプを削除します。
6285078	SOCKS要求の認証の失敗のエントリがログファイルに記録されません。
6285779	serverIDにスペースが含まれる場合に、プロキシサーバーインスタンスが起動できません。
6285788	認証を使用している場合に、SOCKSサーバーがクラッシュします。
6289242	Proxy Server 4のHTTP Smuggling (スマグリング)。
6293449	Proxy Server 4がCONNECTメソッドでただちに接続を閉じません。
6295622	関数 ConnAddress は、Proxy Server 4.0で実現されていません(説明もありません)。

表 5 Sun Java System Web Proxy Server 4.0.1 で修正された問題 (続き)

6296169	他のロケールでインストールされた Proxy Server 4 のヘッダー Cache-last-checked が壊れています。
6296225	DNS キャッシュが有効にされている場合に、Proxy Server インスタンスが断続的にクラッシュすることがあります。
6301786	Solaris 9X86、Linux AS 3.0 で、ローカライズされたコアメッセージが表示されません。
6311463	プロキシプロセスで、時間と共にオープンファイル記述子の数が増加し続け、プロキシのファイル記述子が不足し、接続がドロップします。

既知の問題

この節では、Sun Java System Web Proxy Server 4.0.3 がリリースされた時点での非常に重要な既知の問題および制限を一覧表示します。問題をカテゴリごとに記述します。

- [15 ページの「管理」](#)
- [16 ページの「キャッシュ」](#)
- [16 ページの「マニュアル」](#)
- [17 ページの「インストール」](#)
- [17 ページの「国際化」](#)
- [20 ページの「移行」](#)
- [20 ページの「監視」](#)
- [21 ページの「SOCKS」](#)

管理

次の表は、管理ユーザーインターフェースに関連した既知の問題を一覧したものです。

表 6 管理における既知の問題

ID	概要
6213014	Windows 上の RESTART イベントは、指定された時間に起動されません。
6213017	Windows 上の RECONFIG イベントは、指定された時間に起動されません。

表6 管理における既知の問題 (続き)

6224535	<p>HTTP クライアントの <code>timeout</code> および <code>retries</code> パラメータは、管理インタフェースを使用して設定することはできません。</p> <p>回避策</p> <p><code>timeout</code> パラメータのデフォルト値は5分ですが、<code>obj.conf</code> ファイルの <code>http-client-config SAF</code> に <code>timeout=秒数</code> というパラメータを含めることによって設定できます。</p> <p><code>retries</code> パラメータのデフォルト値は3です。要求の再試行回数は、<code>obj.conf</code> ファイルの <code>http-client-config SAF</code> に <code>retries=再試行回数</code> というパラメータを含めることによって設定できます。</p> <p>有効なタイムアウトは、<code>timeout x retries</code> となります。</p>
6231297	<p>SOCKS 設定に変更を加えて、SOCKS サーバーの代わりに Proxy Server を再起動した場合、「Restart Required」リンクが消えます。</p>
6241978	<p>Windows 上の管理インタフェースにアクセスする際にエラーが発生する可能性があります。</p> <p>回避策</p> <p>システムの <code>system32</code> ディレクトリにバージョン4.5.1以降の <code>libnspr4.dll</code> が含まれていることを確認し、そのファイルを <code>%install_dir%\bin\proxy\bin</code> ディレクトリから <code>system32</code> ディレクトリにコピーして、管理サーバーを再起動します。</p>

キャッシュ

次の表は、キャッシュに関連した既知の問題を一覧したものです。

表7 キャッシュにおける既知の問題

ID	概要
6229823	<p>新しいパーティションを追加すると、パーティションのサイズに関係なく、デフォルトのセクション <code>s0.0</code> も作成されます。エラーファイルに警告メッセージが記録されます。</p> <p>回避策</p> <p><code>cbuild</code> ユーティリティーを使用して、新しいパーティションを追加するか、または新しいキャッシュパーティション下の <code>s0.0</code> フォルダを削除し、プロキシサーバーを再起動します。</p> <p>エラーメッセージは無視して構いません。</p>

マニュアル

次の表は、マニュアルに関連した既知の問題を一覧したものです。

表8 マニュアルにおける既知の問題

ID	概要
6423487	<p>「Monitor Current Activity」のオンラインヘルプページにDNS統計の有効化についての詳細が記載されていません。</p> <p>回避策</p> <p>DNS統計を有効にするには、次の手順に従います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. サーバーマネージャーにアクセスし、「Preferences」タブの「Configure System Preferences」リンクをクリックします。「Enable DNS」オプションで「Yes」を選択し、「OK」をクリックします。 2. <code>obj.conf</code> ファイルに次の行を追加します。 <code>Init cache-size="1024" expire="1200" fn="ip-dns-cache-init"</code> 3. サーバーを再起動します。

インストール

次の表は、インストールに関連した既知の問題を一覧したものです。

表9 インストールにおける既知の問題

ID	概要
6205683	Windows 上のコンソールインストールに失敗します。
6255325	root ユーザーでないユーザーが Proxy Server をインストールし、 <code>/var/opt/sun/install</code> ディレクトリが存在しない場合、インストーラは例外をスローし、Linux でのインストールは失敗します。
6274424	Windows で状態ファイルの <code>defaultInstallDirectory</code> の値が間違っています。インストーラでのデフォルトインストールディレクトリは <code>c:\sun\ProxyServer40</code> ですが、「 <code>setup --savestate</code> 」コマンドを使用して生成された状態ファイルに <code>c:\sun\ProxyServer40</code> がデフォルトインストールディレクトリとして存在しません。状態ファイルはデフォルトインストールディレクトリとして UNIX テンプレート値を表示します。
6353576	サイレントアップグレードインストールが機能しません。

国際化

次の表は、国際化に関連した既知の問題を一覧したものです。

表 10 国際化における既知の問題

ID	概要
6233080	ルーティングが別のプロキシサーバーを使って設定されている場合、「Disable Proxying」オプションはマルチバイトデータ (URL エンコード) の URL では機能しません。
6233090	マルチバイトデータ (URL エンコード) の URL をマップできません。
6233093	マルチバイトデータ (URL エンコード) の URL のフィルタを作成できません。
6233100	取得中のページのマルチバイト文字列をリライトできません。
6242032	『Proxy Server 4.0.2 管理ガイド』の第7章の「システムの詳細設定」節での Parent Array の説明が間違っています。正しい説明は、「親配列とは、プロキシまたはプロキシ配列メンバーがルーティングに使用するプロキシ配列のことです」。この問題は 4.0.3 リリースの英語バージョンのマニュアルでのみ修正されています。
6246562	クラスタを使って別のロケールおよびプラットフォームにインストールされた一連のサーバーの停止に失敗します。 回避策 各サーバーを個別に停止します。
6253844	ブラウザで zh-cn を簡体字中国語の優先言語の1つとして指定すると、オンラインヘルプが表示されません。 回避策 ブラウザで zh-cn を簡体字中国語の唯一の優先言語として指定します。
6255157	Proxy Server 4.0.2 オンラインヘルプで、「Server-Preferences」ページのヘルプファイルの「上部フレーム」リンクに間違ったトピックが表示されます。この問題は 4.0.3 リリースの英語バージョンのオンラインヘルプでのみ修正されています。
6275141	Proxy Server 4.0.2 オンラインヘルプには、Proxy Server 4.0.3 管理インタフェースで削除されるため、ヘルプファイルで削除する必要がある「Configuring File Cache」の節が含まれています。この問題は 4.0.3 リリースの英語バージョンのオンラインヘルプでのみ修正されています。
6295286	『Proxy Server 4.0.2 管理ガイド』の第14章の「逆プロキシの設定」節では、手順5で、「/」マッピングは管理インタフェースが自動的に表示する「Map Source Prefix:」テキストボックスの内容をユーザーが変更しない場合にのみ追加されることに注意を促す必要があります。この問題は 4.0.3 リリースの英語バージョンのマニュアルでのみ修正されています。

表 10 国際化における既知の問題 (続き)

6297168	<p>異なるシステムエンコーディングでサーバーを起動すると、そのシステムエンコーディングのシステムによってエラーが発生し、エラーログに記録されます。管理サーバーから表示すると、エラーログには正しく表示されないシステムエンコーディングの文字が含まれる場合があります。</p> <p>回避策</p> <p>エラーログが管理インタフェースで正しく表示できるように、ブラウザのエンコーディングを OS ロケールに合うように変更します。しかし、この手順は他のページに移動して「View Error Log」に戻るたびに必要となります。</p>
6300615	ローカライズされたコアメッセージにメタタグがありません。
6312044	<p>Proxy Server 4.0.2 オンラインヘルプには「Monitor Current Activity」ページのヘルプファイルにキャッシュ統計への参照があります。機能が Proxy Server 4.0.3 管理インタフェースから削除されているため、これらの参照は削除する必要があります。この問題は 4.0.3 リリースの英語バージョンのオンラインヘルプと『管理ガイド』でのみ修正されています。</p>
6313959	<p>『Proxy Server 4.0.2 管理ガイド』の第 12 章の「ファイルキャッシュを設定するには」節の手順 1 の説明は誤っています。正しい説明は、「Server Manager から、「Caching」タブをクリックします」です。この問題は 4.0.3 リリースの英語バージョンのマニュアルでのみ修正されています。</p>
6313960	<p>『Proxy Server 4.0.2 管理ガイド』の第 12 章の「バッチ更新を作成するには」節には、「Timing セクション」を参照する手順 10 があります。この手順は誤っています。「Set Cache Batch Updates」ページには「Timing セクション」がありません。この問題は 4.0.3 リリースの英語バージョンのマニュアルでのみ修正されています。</p>
6316289	<p>『Proxy Server 4.0.2 管理ガイド』の第 12 章の「キャッシュのディレクトリ構造の構築」節には、図 12-2 ではなく、図 12-1 を参照する例が掲載されています。この問題は 4.0.3 リリースの英語バージョンのマニュアルでのみ修正されています。</p>
6331044	<p>『Proxy Server 4.0.2 管理ガイド』のまえがきで、「マニュアルの使用」節に、Proxy Server 4 マニュアルの場所を指定しています。</p> <p>http://docs.sun.com/app/docs/prod/s1.webproxys#hic</p> <p>この節では、次の場所の Proxy Server 4.0.2 マニュアルを指示する必要があります。http://docs.sun.com/app/docs/coll/1311.2</p> <p>この問題は 4.0.3 リリースの英語バージョンのマニュアルでのみ修正されています。</p>

表 10 国際化における既知の問題 (続き)

6350957	<p>『Proxy Server 4.0.2 管理ガイド』の第5章の「待機ソケットのセキュリティーの有効化」節では、セキュリティーは逆プロキシモードでのみ有効にすることができ、順プロキシモードでは有効にできないことが述べられていません。</p> <p>また、第8章の「ユーザーとグループの指定」節では、セキュリティーは逆プロキシモードでのみ有効にすることができ、順プロキシモードでは有効にできないことが述べられていません。</p> <p>この問題は4.0.3 リリースの英語バージョンのマニュアルでのみ修正されています。</p>
6384616	<p>Proxy Server 4.0.3 オンラインヘルプには書式設定のエラーがあります。この問題は4.0.3 リリースの英語バージョンのオンラインヘルプでのみ修正されています。</p>
6387901	<p>『Proxy Server 4.0.2 管理ガイド』の第11章の「URLのプロキシ設定とルーティング」の「プロキシサーバーの連鎖」節では、次の形式でサーバー名とポート番号の両方を入力できる、と説明するべきです。「Routing」タブにある「Set Routing Preferences」ページの「Route Through Another Proxy」でサーバ名:ポート。この問題は4.0.3 リリースの英語バージョンのマニュアルでのみ修正されています。</p>

移行

次の表は、監視に関連した既知の問題を一覧したものです。

表 11 移行における既知の問題

ID	概要
6412129	<p>プロキシインスタンスが Proxy Server 3.6 から Proxy Server 4.0 に移行された場合、移行ツールは「Client IP Addressing Forwarding」の設定を変更しません。4.0 バージョンで「Client IP Addressing Forwarding」はデフォルトで「Blocked」に設定されています。3.6 バージョンで「Client IP Addressing Forwarding」はデフォルトで「Blocked」に設定されていません。結果として、この機能のデフォルト値が3.6と4.0で異なるため、動作が変わります。</p> <p>回避策</p> <p>移行ツールの使用時に、移行されたインスタンスの obj.conf ファイル内で block-ip ObjectType に対応するエントリが見つからない場合は、obj.conf ファイルに次の行を追加します。</p> <pre>ObjectType fn="block-ip"</pre>

監視

次の表は、監視に関連した既知の問題を一覧したものです。

表 12 監視における既知の問題

ID	概要
6268536	<p>libnspr4.dll ファイルが system32 ディレクトリにない場合、Windows 上の SNMP は機能しません。</p> <p>回避策</p> <p>システムの system32 ディレクトリにバージョン4.5.1 以降の libnspr4.dll が含まれていることを確認し、そのファイルを %install_dir%\bin\proxy\bin ディレクトリから system32 ディレクトリにコピーして、管理サーバーを再起動します。</p>

SOCKS

次の表は、SOCKS に関連した既知の問題を一覧したものです。

表 13 SOCKS における既知の問題

ID	概要
6245453	更新抑制機能は GUI に表示され、「Server Manager」>「SOCKS」>「Configure SOCKS v5」ページに説明がありますが、この機能は実装されていません。
6263389	Windows で同じポートを使用して SOCKS の 2 つのインスタンスを起動すると、エラーがレポートされません。
6285791	JES4 の SOCKS サーバーの start コマンド行の問題はこのリリースで修正されましたが、JES4 インストールで作成された既存のインスタンスでは、最新の 4.0.3 パッチにアップグレードしたあとも問題が残ります。アップグレード後に作成された新しいインスタンスにはこの問題はありません。この問題は、Web Proxy Server のスタンドアロンインストールでは発生しません。

お問い合わせ先

Sun Java System Web Proxy Server 4.0.3 の使用にあたって問題が発生した場合は、以下のいずれかの方法で Sun のカスタマサポートにお問い合わせください。

- 次の URL の Sun Software Support サービスオンライン
<http://www.sun.com/service/support/software>
- メンテナンス契約に対応した電話番号

次の情報をお知らせください。

- 問題の詳細な内容 (発生状況や業務への影響の度合など)
- マシンのタイプ、OS のバージョン、および製品のバージョン (問題に関連している可能性のあるパッチやその他のソフトウェアを含む)

- 問題を再現するための詳細な手順
- エラーログおよびコアダンプ

Sun ではマニュアルの改善に努めており、皆様のご意見、ご提案を歓迎いたします。ご意見は <http://docs.sun.com/app/docs/form/comments>